

資料提供	
平成30年9月7日	
担当 (担当者)	図書館 (三田)
電話	0857-26-8155

とっとり県民の日記念企画

## 糸賀一雄没後50年 『障がい福祉の父 糸賀一雄』を開催します

「この子らを世の光に」。鳥取県出身の教育者、糸賀一雄（いとが かずお）氏の言葉です。知的障がい児等の入所・教育・医療を行う「近江学園」（昭和21年）の創設をはじめ、日本の障がい者福祉・教育に偉大な足跡を残されました。

没後50年を迎える今年、その思想や実践、功績を紹介する展示を行います。

### 1 展示内容

- ・鳥取での生い立ち  
糸賀氏の母校や幼少時代を過ごした当時の鳥取の様子などを紹介
- ・思想と実践  
糸賀氏の著作や講義内容、近江学園の取り組み等を紹介

### 2 会場 鳥取県立図書館 2階 通路ギャラリー

### 3 期間 平成30年9月12日（水）～10月10日（水） 休館日 9月13日（木）、30日（日）

### 4 連携企画

とっとり県民の日の連携企画として、鳥取県社会福祉協議会主催のセミナーを開催。

演題：糸賀一雄没後50年 鳥取の福祉を考える ～ ともに生きる 福祉セミナー ～

会場：鳥取県立図書館 2階大研修室

日時：平成30年9月12日（水）午後1時30分～午後4時

内容：「障がい福祉の父」と呼ばれた糸賀一雄氏（鳥取県出身）の取組みを振り返り、これからの鳥取・福祉のあり方について県民とともに考え見つけなおす。

講演やパネルディスカッションを行い、パネリストには滋賀県立近江学園主任専門員森本氏をお招きする。

糸賀一雄（いとがかずお）

大正3（1914）～昭和43（1968）年。鳥取市生まれ。

米子町義方尋常小学校（現・米子市立義方小学校）入学、鳥取市立日進尋常小学校（現・鳥取市立日進小学校）卒業。鳥取二中（現鳥取東高）、松江高をへて京都帝大文学部哲学科卒業。小学校代用教員を勤めた後、滋賀県庁に入り、秘書課長、食糧課長などを歴任。

昭和21年、知的障がい児等の入所・教育・医療を行う「近江学園」を創立。多くの先駆的な事業を進め、指導者を多数養成、全国各地へ送り出し、乳幼児検診システムの確立に努める等、国の制度づくりにも大きく貢献し、「障がい福祉の父」と呼ばれています。

また、鳥取においても、皆成学園の建設への助言をはじめ、研修の講師を務める等、障がい福祉の発展に寄与されました。

「この子らを世の光に」という彼の信条は、障がい児は社会の弱者であるという従来の人間観を打破した革新的な発想であると言われています。

昭和43年9月、滋賀県児童福祉施設等新任職員研修会の講義中に倒れ、翌日逝去。行年54歳。